

.JA 広報



な

ど

し



主な話題

令和5年度サツマイモ栽培
年金友の会 パークゴルフ開幕戦
廃プラ回収作業
JA女性部 手縫い雑巾寄贈 その他

7月号
NO.669

TOPICS

3年目となる農協のサツマイモ試験栽培。今年は移植機での定植や手作業での定植など植え方も様々。試行錯誤しながら産地化への取組を進めています。また、青年部の食育用サツマイモ栽培は6年目を迎えた。今年も収穫体験を通し小学生へおいしいサツマイモと貴重な体験をお届けします!

■令和5年度サツマイモ栽培

6月上旬、今年度3年目に入ったサツマイモの定植がスタートしました。今年は新たに導入されたサツマイモ苗移植機を使い定植作業が行われ、圃場には伊達市や普及センターをする関係機関や生産者が集まり、定植場面での作業性や機械動作を興味深く確認していました。

今年は市内生産者によりサツマイモ苗の育苗にも取り組み、11件の生産者によって約2.5haの作付けが予定されております。北海道においても新顔作物として注目を集め、栽培面積も増加傾向にあるサツマイモが伊達市の新たな新興作物として組合員の皆様に栽培いただけるよう

農協も引き続き取り組んで参ります。



苗移植機による定植のようす

JA青年部

■青年部食育用サツマイモ定植

6月12日(月)、伊達市農協青年部では食育用サツマイモの定植作業を行いました。

青年部によるサツマイモの栽培は今年で6年目。今年は育苗したハロウィンスイート、パープルスイートロードの他、紅はるかとアヤムラサキの約1,000本を定植しました。試験栽培と食育活動を兼ねたこの取り組みによって栽培されたサツマイモは、学校給食や子ども食堂への提供を始め、東小学校2年生の児童による収穫体験といった食農教育の実践に役立てられます。



定植後の集合写真

年金友の会



■パークゴルフ大会 開幕戦

6月3日(土)、年金友の会パークゴルフ大会開幕戦を関内パークゴルフ場で開催しました。前日の雨により開催が危ぶまれていましたが、曇り空の中会員15名が参加しハツラツとプレーを楽しんでいました。結果は以下の通りです。

《男性》 《女性》

1位 佐藤 繁	1位 伊藤 喜枝
2位 丹野 征之	2位 篠原ミヤ子
3位 篠原 裕治	3位 長谷川貞子
4位 伊藤 文夫	4位 関根 美幸
5位 堀篠 次男	5位 荒 厚子

◎ホールインワン賞

篠原 裕治

◎プービー賞

男性 森川 福男

女性 森川 洋子



開幕戦のようす

■第39回組合長杯 ゲートボール大会

6月14日(水)、伊達市総合体育館にて第39回組合長杯ゲートボール大会が開催されました。

当日は6名と少人数での開催となりましたが、作戦を練りながら熱いプレーが繰り広げられました。

成績は以下の通りとなっています。

◎ゲートボール結果

優勝 A	平泉 国子	伊藤 喜枝
	東海林綾子	
2位 B	角田 満	堀 智博
	伊藤 文夫	東海林信雄



大会のようす

■廃プラ回収作業

6月8日(木)から9日(金)の2日間、SDGsの取組の一環として農業用廃プラスチックの回収作業を行いました。組合員の方々が搬入した塩ビやポリの入ったフレコンバックをフォークリフトで降ろし、重量を計測し回収しました。

今回は、118件の組合員の廃プラが塩ビとポリを合わせて52t回収され、大雪による被害で回収量が増加した昨年同月の回収分より31件19t減少しました。回収された廃プラは資源の有効活用の観点から、破碎・溶解処理などを経て再生資源として生まれ変わります。



計量される廃プラ



■ 手縫い雑巾寄贈

6月23日(金)、JA伊達市女性部ホビークラブは伊達市教育委員会へ手縫い雑巾250枚を寄贈しました。この活動は2003年から始まり今年で20年目。これまでに寄贈した雑巾は4,725枚にものぼり、伊達市内の小中学校10校に届けられ環境美化に活用されています。

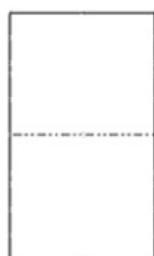
影山教育長は「今は家庭でも雑巾を使って掃除をするという機会も減っている。雑巾を絞って掃除をするという日本の古き良き文化を生徒に教えることができ、SDGsの観点からもぞうきんの寄贈は大変ありがとうございます。」と話されました。女性部では今後もこの活動を継続していく方針です。



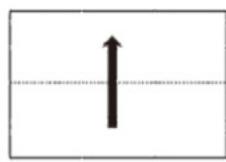
寄贈のようす

「布」または「雑巾」提供のおねがい

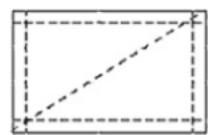
現在、雑巾の原料となる布が不足しています。ご自宅に不要となりましたフェイスタオルや古布また、手縫いの雑巾その物がございましたら提供のご協力をお願い致します。

フェイスタオルを
1/2にカットする

X



半分に折る

点線の部分を
縫う

当農協女性部と共に、地域貢献活動として賛同して頂き市内の学びの場へ皆様の温かいお気持ちと共に届けようと思います。

※お問い合わせ先

営農指導課女性部事務局

TEL : 23-2181

■ 組合長・参事との意見交換会

6月28日(水)、JA伊達市女性部は組合長・参事との意見交換会を開催しました。女性部からは部員6名が出席し、「JA経営の女性参画拡大」や「新規就農者・親元就農者への支援」などについて意見が交わされ、女性部からは「組合員向けの農業技術講習会の開催」や「畑作、野菜農家への補助事業」などの要望が挙げられました。佐藤哲組合長は、「なかなか女性部の皆さんと対話をする機会がなく、今回いろんなお話を聞くことが出来嬉しく思う。今後もこういった機会を継続して作り、皆さんと意思疎通を図りながら事業を進めていきたい。」と話しました。



意見交換会のようす

令和4年産 米穀共同計算最終精算について

【飼料用米：1俵当たり税込】

○販売収入

販 売 代 金	2,592
その他（前年産繰越金見込み等）	0
合 計	2,592

(注) 数値については端数処理の関係で、実際の精算額と内訳が一致しないことがあります。



○経 費

検査・保管経費	90
概算金金利 (立替分金利・ホクレン基準金利)	2
事故処理経費	0
生産・集荷・販売経費	273
その他経費（委託搗精費）	37
手数料（JA・ホクレン）	523
合 計	925

○生産者手取り額（共同計算によるJA伊達市精算分）

(1俵あたり税込単価／円)

品 種	等 級	概算金	最終精算	合 計
			R5年5月	
全品種	合 格	1,800	421	2,221

J Aの家庭雑誌

あなたの元気がわたしの元気

家の光

お申し込み受付中

◇普通月号
税込 **629円**
◇付録月号
(1・4・5・7・9月号)
税込 **922円**

◇付録月号
(家計簿付12月号)
税込 **1,027円**

農と食の総合雑誌

地上

GOOD EARTH
お申し込みはJAへ

定価(税込み)／普通月号 **618円**
付録付号(4・11月号) **680円**

JA伊達市

夏の貯金キャンペーン

スーパー定期貯金新規ご契約及び
増額書替(20万円以上)のお客様限定

預入期間1年で
年0.10%

※貯金利息は税引き前です



キャンペーン期間

令和5年6月19日(月)から
令和5年8月31日(木)まで

- ◆おひとり様20万円以上(上限なし)、増額書替20万円以上で対象とします
- ◆正組合員・准組合員にご加入の個人のお客様に限ります
- ◆中途解約時利率は、当組合所定の解約利率となります
- ◆満期日以後の利息は、店頭金利が適用されます
- ◆お利息には20.315%(国税15.315%、地方税5%)がかかります

室蘭労働基準監督署管内における労働災害の発生状況

室蘭労働基準監督署管内における令和5年1月1日から令和5年5月31日まで休業4日以上の死傷災害が発生した件数（農業・畜産業）

局	署	市町村	業種	労働者数	災害発生日	死亡/休業	休業見込期間	性別	経験期間	事故の型	起因物	傷病性質	傷病部位
北海道	室蘭	室蘭市	畜産業	5	令和5年1月25日	休業	2週	女性	2ヶ月	墜落、転落	はしご等	骨折	胸部
北海道	室蘭	伊達市	畜産業	12	令和5年2月11日	休業	3ヶ月	男性	6ヶ月	はさまれ、巻き込まれ	トラック	切断	指
北海道	室蘭	伊達市	農業	8	令和5年2月13日	休業	6週	女性	8ヶ月	転倒	その他の環境等	骨折	すね
北海道	室蘭	伊達市	農業	20	令和5年3月5日	休業	2ヶ月	男性	3年	転倒	その他の環境等	骨折	足
北海道	室蘭	伊達市	畜産業	15	令和5年4月22日	休業	7日	女性	5年	動作の反動、無理な動作	その後の転落、捻挫 筋肉、亜脱臼及び脱臼を含む)	関節の腫脹、筋肉、亜脱臼及び脱臼を含む)	手首

※農業・畜産業において、令和5年5月に新たな労働災害は発生しておりません。

7月は「全国安全週間本週間」です。

全国安全週間は、年に一度、6月の1か月間を準備月間、7月1日から7日までを本週間とし、働く環境の中で、不安全な箇所はないか、不安全な行動はないかを労使が一体となって見直し、『今後、労働災害を起こさない』ということを誓う時期になります。今年のスローガンは、「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」となっています。お仕事は毎日の繰り返しですし、ついつい一つの安全行動を省いてしまうことがあります。ちょっとした不安全な行動により、ひとたび労働災害が起きてしまうと、ケガをされたご本人だけでなく、そのご家族、さらに会社までもが悲しい思いをしなければなりません。こうした労働災害を防ぐためには、まず会社が安全な仕事を働く方々に行ってもらうための職場環境づくりが重要です。加えて、本年度のスローガンにありますように、働く方々が安全な意識を高めて働いていただくことにより労働災害は減少するものと考えております。そこには私たち労働基準監督署も色々と知恵を絞りながら、皆様方と一緒に考えていきたいと思っていますので、どうぞお気楽にご利用ください。



J Aコネクト

スマホアプリ『JAコネクト』

J Aからの情報配信手段として、スマホやタブレットのアプリに配信する「JAコネクト」を導入いたしましたのでご案内いたします。

※ご利用希望の方は、別紙「JAコネクト利用申込書」に記入し提出願います。

※お問合せ先 審査課 担当 高橋 TEL: 23-2181



iPhone用



google用

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

農業者の
みなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

農作業中の熱中症

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7~8月に発生している一方で3~6月にも発生



予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう！

農林水産省



日本で食べるものは、日本で作る 「国消国産」をいつしょに考えよう

なぜ今?
国消国産

生きるために欠かせない食料は、日本で作ったほうが安心

新型コロナウイルスの感染が広がり始めたとき、マスク不足が大きな問題になりました。もしこれが食料だったら、どうなっていただけでしょうか。いざという時、マスクのような工業製品は

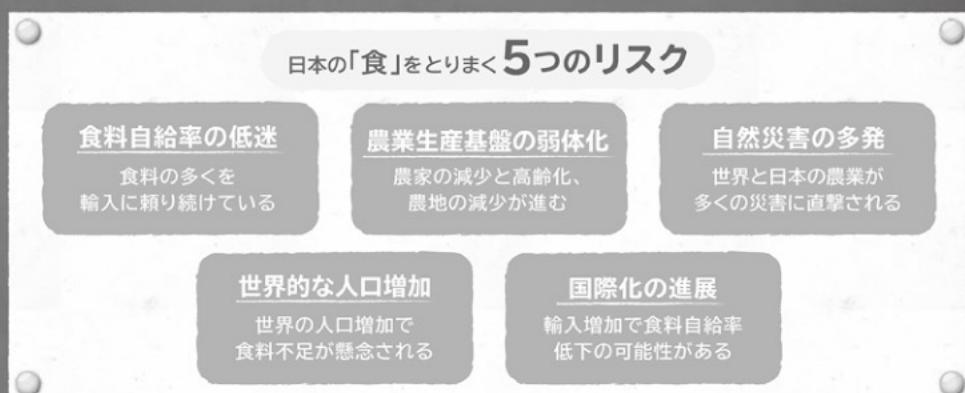
急いで作れますが、農地を耕し、自然と調和しながら、長い年月をかけて育まれる農畜産物は、不足したからといってすぐに作れるわけではありません。

日本の「食」は、今さまざまにリスクに直面

今、日本の食料自給率は38%※です。つまり食料の約6割を輸入に頼っているのです。その大きな要因は、農家の減少や高齢化など、生産基盤の弱体化です。さらに、日本も含めた世界中で自然災害が多発しています。もし、日本が多くの食料を輸入している国で自然災害などが発生し、食料生産が大幅に減少したら、

※カロリーベース 2019年 農林水産省による

日本の食生活にも多大な影響を及ぼしかねませんが、食料の輸入は増加しているのです。さらに、今後も世界的な人口増加が予測される中、日本ではこれから先ずっと、食料を輸入し続けられるのかという懸念もあります。このように、日本の「食」は、多くのリスクに直面しているのです。



だから今!
国消国産

「国消国産」で、「食」の安心を次の世代に

そのようなリスクにさらされている中で、JAグループは、「國」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「國」で生「產」する、「国消国産」という考え方を提起しました。私たちの毎日の「食」の安心はもちろん、子どもや孫たちの世代にまで、この日本という土地で豊かな実りが絶えることのないように、おいしい食卓を囲む笑顔が絶えることのないように、「国消国産」は、日本の「食」のこれからにとって、大きな意義をもっています。

JAグループサポーター・林修



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ



理事会の動き

▶第3回理事会…令和5年6月29日(木)

- 第1号 JAバンク経営戦略シート策定について
- 第2号 令和4年産米穀共同計算最終清算について
- 第3号 令和4年産飼料用米全道共同計算最終清算について
- 第4号 酪農家に係るバルククーラー用新型自記温度計の助成について
- 第5号 酪農経営改善緊急支援事業に係る積立て等について
- 第6号 第9次農業振興計画・中期経営計画の策定について
- 第7号 第1・四半期監事監査結果について
- 第8号 令和4年度JAバンク基本方針に基づく財務モニタリングの報告について
- 第9号 令和4年度JAバンク基本方針に基づく体制整備モニタリングの報告について
- 第10号 夏季賞与支給(案)について
- 第11号 2023年版ディスクロージャー誌の開示について
- 第12号 出資金持分譲渡について

退

職されました

令和5年6月30日付

氏名	部署
草野英男	信用部審査役



発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 Tel 0142-23-2181
E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp

未来を変える。
みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.69

工事の進め方について

今年度に工事を行う大平と上館山の工区について、着々と作業が進んでいます。

工事の実施にあたっては、測量を実施した後、取付道路等の位置確認や試掘調査等、現地立会に協力いただきながら進めていくことになります。各工程の実施時期については、天候状況や工事面積などによって変動が生じる可能性がありますが、概ね次のとおりです。

①測量（工事業者決定後、4月～5月頃）

→ 施工前の現地立会

(取付道路等位置確認、表土厚確認、試掘調査)



②表土はぎ（6月～7月頃）



③基盤造成・整地（7月～8月頃）

→ 基盤整地後の現地立会

④表土戻し（9月～10月頃）

→ 表土戻し後の現地立会

⑤暗渠排水（必要な場合 9月～10月頃）

⑥除レキ（必要な場合 11月頃～）

⑦心土破碎（必要な場合 11月頃～）

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業

促進期成会事務局

(伊達市 経済環境部 農地整備課内)

Tel 0142-82-6161 (直通)



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

